

学園の歌

(きよごうざん)

1 朝日に映ゆる巨龍山 夕日は燃ゆる燈灘

こゝ西讃の一角に 集いて謳わん 学園の

(れいめい)

あゝ 歓びの黎明を

(とうとう)

2 野をさ緑に彩りて 滔々とゆく財田川

(はて)

涯なき流れを望みつつ 集いて建てん 学園の

あゝ 輝ける伝統を

3 琴弾く磯の松風に 北斗の影は清く冴え

(たた)

仰ぐ瞳に夢熱く 集いて讃えん 学園の

(とこしえ)

あゝ 永久の栄光を